

JUNE
2016 6

なでしこ Cheers! 【チアーズ】

頑張る人達とあなたへ声援を届ける医療と健康のフリーマガジン

さいせいかいにいがた

特集

家族・病院・地域—みんなで支える子育て。

赤ちゃんにやさしい病院が取り組む、
真の母乳育児とは？

第25回 母乳育児シンポジウム開催



スタッフ 医芳人 IHORIN

入院患者さん嗜好アンケート

研修医・新任職員のご紹介

新潟市 在宅医療・介護連携ステーション西開設

登録医訪問 小堺医院

職場訪問 がん相談支援室



豆腐とはんぺんの
ふ〜んわり揚げ ポン酢ジュレ



赤ちゃんにやさしい病院が取り組む、 真の母乳育児とは？

*BFH(赤ちゃんにやさしい病院)の認定を受ける
済生会新潟第二病院では

積極的に「母乳育児」を推進しています。

それは、「ただ母乳で育てれば良い」という意味ではなく
妊娠・出産・子育てまで、一貫する深い想いがありました。

病院全体ではもちろん、家族や地域とも連携した
さまざまな取り組みについてご紹介します。

*Baby Friendly Hospital



看護師長・助産師
高野 留美

小児科
小久保 総一郎 医師

ピカソ作「母と子」を象徴とした認定証

WHO(世界保健機構)とユニセフ(国連児童基金)による母乳育児を積極的に推進する産科施設の認定。母乳育児が成功するためには、産科施設の果たす役割が大きいとして両機関が1991年に創設。慈愛に満ちた表情でわが子を抱きしめる母と、その母に全幅の信頼を寄せる赤ちゃん。母乳育児の至福の時がやわらかい線で描かれている。



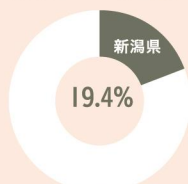
アドバンス助産師認定バッジが責任の証



このバッジは「自律して助産ケアを提供できる助産師」の目印。済生会新潟第二病院では、約30名の助産師が在籍し、そのうち23名が日本助産評価機構により、アドバンス助産師の認定を受けている。「安心、安全でお母さん、赤ちゃんにやさしいお産」を目指し日々研鑽しています。

就業助産師数に対する新潟県の合格者割合

全国3万3,956名のうち
新潟県では790名が合格



(平成27年度)

へその緒妊婦健診から出産、産後、退院後まで、お母さんと赤ちゃんの心身のケアに努める「赤ちゃんにやさしい病院」のスタッフ。抱っこや語りかけで親子の絆を深めるサポートを行っている。





済生会新潟第二病院

母乳育児 基本方針

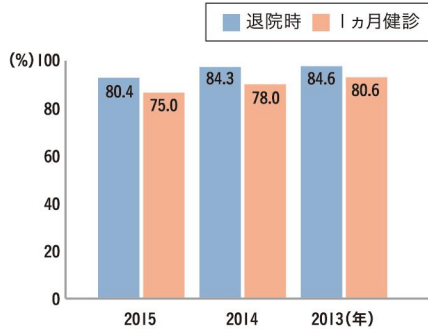
- 母乳育児に必要な知識・技術を提供します。
- 赤ちゃんとお母さんを尊重し、楽しい育児を支援します。
- 出産後は早期から母乳が飲ませられるよう支援します。
- お母さんと赤ちゃんがいつも一緒に過ごすことのできる環境をつくりまします。
- 必要でないときには母乳以外のものは与えません。
- 母乳育児の原点である、抱っこ・語りかけのできる育児をサポートします。
- 赤ちゃんにやさしい病院として、母乳育児サークルを支援します。

「母乳育児」に関する考え方
新潟県内の病院で2番目の分娩件数（年間約850～900件）を誇る済生会新潟第二病院。その中で、退院時での母乳率（母乳だけで育てている人の割合）は80%を超えています。赤ちゃんにやさしい病院の認定を受けた済生会病院の「母乳育児推進」について、小児科医と助産師にお話を伺います。

「母乳育児」何があっても母乳で育てるということではなく、抱っこや語りかけを大切にしたい育児です。母子の幸せを願い、母乳を通して愛情や情緒を育むことを第一に考えています」と高野看護師長。大久保医師からは、「かつて、粉ミルクが主流だった時代がありました。完全食である母乳は大切です。まずは母乳、

済生会新潟第二病院での母乳率年次推移

1ヶ月健診時での母乳率（母乳だけで育てている割合）は80%超。



理解が重要。まずは親子・家族があつて、みんなで見守る「ことが大切です」と坂井副師長。祖父母世代の育児が間違いということではなく「哺乳類である人間としてできるだけ自然な子育てができるように」母乳育児を推進しています。



「母乳育児」に関する考え方



A4病棟 副師長
坂井 加代子



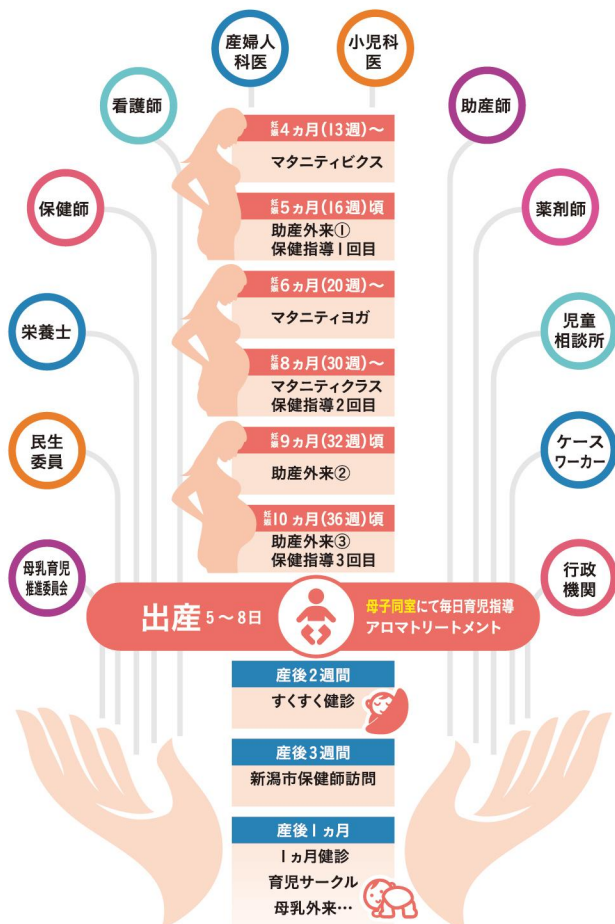
育児にも流行りがある？

母乳が粉ミルクかという問題はもちろん、抱っこや卒乳に対する考え方、捉え方も世代によつて常識にギャップがあることも事実です。「離乳食という言葉も、最近では「補完食」（母乳に加えて補給する食事）と呼ばれています。子育てを取り巻く状況は変化・進歩するので、家族や地域の方の

カリリーが足りなければ粉ミルクで補充します。当院としては、母乳育児を安心して、安全に行えるように支援しています」とお話いただきました。母乳栄養ではなく、母乳育児に焦点を当てていくことがポイントのようです。

みんなで支える母乳育児

～妊娠・出産・産後のお母さんと周囲の人との関わり～



赤ちゃんにやさしい病院の取り組み

BFH(赤ちゃんにやさしい病院)は、WHO(世界保健機関・ユニセフが出した共同声明の母乳育児の基本理念(10箇条に沿ったケアを提供する病院のこと。助産師だけではなく、病院全体のシステムとして、妊娠・出産・産後を母子・家族をしっかりとサポートしていくことを目指しています。

済生会では、マタニティビクスやマタニティヨガ、保健指導などを通して、妊娠中からお母さんの心身のケアを図ります。「出産直後は赤ちゃんにすぐ母乳を与え、入院中も母子同室にて、赤ちゃんがおっぱいを欲しがったらすぐに与えられるような環境をつくりまします。私たちは、自然な流れの中で母性、または母乳分泌のスイッチを入れてい

く補助的役割。お母さんにとっても赤ちゃんにとつてもたいへんな時期です。ですので、スタッフ・家族のサポートが大切です。」と高野看護師長。さらに「当院は、母乳育児の委員会を設置していますが、こちらは産科・婦人科・小児科のスタッフだけでなく、栄養士や薬剤師、また医療事務まで大勢の職員が多彩な取り組みに関わっています。随時、院内外でカンファレンスを行っています。授乳中でも飲める薬はたくさんあるんです」と大久保医師からご説明いただきました。

妊婦健診や入院中にお母さんが家族・親子の絆を育み、大きな幸せを実感できることはもちろん、退院後の幼児期・学童期までずっと安心して子育てできることが「母乳育児の本当の意味」であると助産師は語ります。

お産はお母さんにはできないこと。辛くて大変な分、とても大きな達成感と充実感があります。お産後、少し休みたいと思われる方もいるかもしれませんが、入院中からずっと赤ちゃんと一緒にいることができ、母乳育児に向き合うことで、育児に自信を持つことができます。

また、当院では産後の食事にも気を遣っており、バランスの良い理想的な食事を摂るための食材選びの覚え方を表した「まごわやさしい」を取り入れ、体に良い、母体にやさしい食事を、管理栄養士が考え提供しています。

心身ともに健康的な
育児を目指して



まごわやさしい

い	し	さ	や	わ	ご	ま
いも	しいたけ	さかな	野菜	わかめ	ごま	豆
じゃがいも・さつまいも・里芋・山芋など	きのこ類	青魚や鮭など	野菜や根菜類など	ひじき・わかめ・のり・昆布・もずくなど	ごま・ナッツ類・くるみ・栗・銀杏・松の実など	納豆・大豆・豆腐・小豆・黒豆・油揚げ・高野豆腐など

産婦人科 長谷川 功医師
からのメッセージ

母乳育児推進委員会の委員長であり
母乳育児シンポジウムの
副実行委員長を務める
長谷川 功 医師から
妊娠中の方・子育て中の方
ご家族の皆さんへメッセージをいただきました。

和歌の枕詞に「たらちねの」があり、「母」を導きます。漢字で垂乳根と書き、垂らすほど乳が出るという意味です。このように母乳はまさにお母さんの象徴であり、母乳で赤ちゃんを育てることは極めて自然であると同時に、人類のDNAに刷り込まれた幸せなこともあります。

当院がユニセフから母乳育児を推進する「赤ちゃんにやさしい病院」に認定され8年が経過しました。母乳育児の幸せを一人でも多くの女性に味わってもらべく、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

父になり、母になること。命の重さ
を考えること。親子の絆を深めること。すべては、妊娠が分かったその日からスタートしています。前向きで幸せな子育てのためのベースになる「母乳育児」。将来、お子さんが「待ち焦がれて生まれてきたこと」を認識でき、「人を思いやる気持ち」に気づくこと

までつながっているというお話にも感銘を受けました。

今年は、新潟県で母乳育児シンポジウムが開催されます。家族や地域の方にも、妊娠・出産・子育ての在り方を考える素晴らしいきっかけになります。



母乳育児サークル へその緒くらぶ

お母さん同士の交流の場。悩みを相談したり、育児の情報交換をしたり、一緒に遊んだりしながら、子育てを楽しみ、お互いに支え合うことができます。

日時／ 6月14日(火)
6月28日(火)
10:30 ~ 12:00
※毎月第2・第4火曜日開催

場所／ 済生会新潟
第二病院
10階会議室
※済生会新潟第二病院で
出産の方が対象となります。

へその緒ノート

マタニティセルフチェック等を通して妊婦さんがリスクを理解し、自己管理していくことを目指します。健康的なマタニティライフを送り、積極的に分娩に臨めるようサポート。パートナー用のチェック表もあります。



第25回 母乳育児シンポジウム

トキめき母乳育児

期日：2016年7月30日(土)～7月31日(日)

会場：新潟市朱鷺メッセ

主催／一般社団法人 日本母乳の会 後援／ユニセフ・厚生労働省 ほか



7月30日(土) 9:00～18:00

○2016年「赤ちゃんにやさしい病院」認定証授与式

○特別講演 からだの時計は今、何時? ～母と子の時間と遺伝子の物語～

岡村 均(京都大学大学院薬学研究科・医薬創成情報科学講座システムバイオロジー分野)

○シンポジウム1

母乳育児支援のやさしさを考える～「赤ちゃんにやさしい」と「お母さんにやさしい」は相反するの?

(母乳権とは・妊娠中からの支援・分娩の安全性・頻回授乳・補足について)

○ワークショップ それぞれの母子に合わせた母乳育児支援(口唇口蓋裂・母子分離・リウマチ・災害時)



7月31日(日) 8:45～16:00

○シンポジウム2

母乳育児支援のやさしさが社会を変える

(プレネイタルヴィジット・職場満足度・2週間健診・市が取り組む母乳育児支援)

○特別企画「新潟からの発信」

・新潟県分娩施設の母乳育児調査報告

・新潟大学シッター制度で育児力

・行政との連携等

○第25回 母乳育児シンポジウム 新潟宣言



シンポジウム参加費

①会議費 ※1日だけの参加の場合も会議費は同額です。

会員 10,000円／未会員 12,000円／学生 3,000円／母親・父親(医療者、専門家以外) 3,000円

②懇親会費 6,000円

③昼食お弁当代 1,000円

※全て税込表記となります。※このほか、保育のお申込みも受け付けます(有料)



参加申し込み

FAXまたは郵送で下記事務局まで。E-mailの場合は、HPから書式をダウンロードしてお送りください。

事前申し込みをお願いしていますが、当日まで受け付けます。お申し込み後、振込用紙をお送りします。

一般社団法人 日本母乳の会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井3-9-4 TEL03(5318)7383 FAX03(5318)7384

E-mail:sympo@bonyu.or.jp HP <http://www.bonyu.or.jp/>



特集
連動記事

母乳育児シンポジウム開催

毎年8月1日は「世界母乳の日」、8月1日～7日は「世界母乳育児週間」です。母乳育児の保護・促進・支援する目的で開かれる日本のシンポジウムが、今年は新潟県で開催されます。母乳育児について多くの人に知ってもらい、語り合う場として1,000人クラスの参加者が見込まれます。一般の方の参加も受け付けていますので、一緒に考えてみませんか。

Medical レシピ

今月のわんふわーと

飽食と言われている時代。

意外にも高齢者の低栄養は多く問題となっています。

低栄養の原因には

①がんや、消化器・呼吸器系に疾患がある

②うつや認知症がある

③噛む・飲み込む力の低下

など様々な要因が挙げられます。

これからの季節は、さっぱりしたものを食べたくりますが

そんな時でもしっかりと栄養を摂りましょう。

「噛む力」「飲み込む力」が低下した方にも配慮したレシピです。

豆腐とはんぺんの ふ〜んわり揚げ

ポン酢ジュレ

栄養量(1個分):エネルギー 103kcal、たんぱく質 6.1g、塩分 1.0g

Photographer: takayuki kuwabara

材料(6個分)

木綿豆腐… 1/2丁(200g)

はんぺん… 2枚(100g)

片栗粉… 大さじ1

しらす… 50g

青じそ… 4枚(きざむ)

ネギ… 1/2本(きざむ)

揚げ油… 適量

貝割れだいこん… 適量

(A) ポン酢… 大さじ2

(A) 砂糖… 小さじ1

(A) 水… 100ml

お湯… 50ml

ゼラチン… 2g

レモン汁… 小さじ2

熱々にジュレを乗せると溶けるので、少し冷めた方がベスト

- ①豆腐はザルにあげ、冷蔵庫で半日おいて水切りをする。
- ②ボウルに豆腐とはんぺんを入れ、手でくずして混ぜ合わせる。そこに片栗粉、しらす、青じそ、ネギを加えて混ぜる。
- ③②を6等分に丸めて形を作り、180℃に熱した油で揚げる。きつね色になったら、よく油をきって器に盛付ける。



冷めても美味しく
食べ応えがあり
お弁当の
おかずにも♪

ジュレの作り方

- (1) (A)を合わせ、電子レンジでひと肌に加熱する。
- (2) ゼラチンをお湯で溶かして(1)に入れ
レモン汁を加える。
- (3) 冷蔵庫に入れて冷やし固まったら
フォークでくずして出来上がり。

おうちでカンタンに
ジュレタイプの
ドレッシング♪



監修 ● 栄養科 津野 菜津美

今月のポイント

エネルギーアップの秘訣→油で揚げること、簡単にエネルギーアップ。しその風味で爽やかに。
たんぱく質アップの秘訣→豆腐は水切りをすると大豆の割合が多くなり、よりたんぱく質がアップします。

日本最大の料理レシピサイト「クックパッド」にレシピを公開しています。オンラインでチェック <http://cookpad.com>
また、栄養科健康レシピのバックナンバーは、当院のホームページの「院外報なでしこCheers!」からダウンロードすることができます。

クックパッド さいせいかいのにがた

チアーズボイス



皆様からいただいたご意見の中から
「患者の声(アドボカシー)相談室」
よりお伝えします。

患者さんからご意見やご要望をお寄せいただくために、ご意見箱を外来2箇所(1番おしほらい窓口脇、B棟エレベータ脇のCT室待合付近)、B棟2階エレベーター前、及び、各病棟デイルームに設置しています。また、患者の声相談室(A棟1階)では、専任の医療ソーシャルワーカーが直接ご意見をお聴きしています。病院が少しでも利用しやすくなるよう取り組んでいますので、お気づきの点などありましたら何なりとお知らせください。

産科スタッフ一同宛に
お礼のお言葉を
いただきました。

初 めての出産
だったので、嬉
しきだけでなく不安

や怖さもあり、予定日が近づくにつれ、毎日
ドキドキしていました。

マタニティーブルーにもなり、泣いて電話
をした時、助産師さんから温かい言葉をかけ
てもらい、気持ちがとても楽になりました。
出産の時も傍らについてもらえ、安心して
産むことができました。先生や助産師さん、
看護師さんのおかげだと思っています。

出産後も、おっぱいのこと・傷のこと、色々
と教えて頂けて本当に助かりました。

みなさんがいつも
優しく親切に接
して下さったこと
嬉しく思っていま
す。2週間健診、
一ヶ月健診を楽し
みにしています。あ
りがとうございま
した。



2階

1階



子どもと一緒に
入れるトイレは
ありますか？

内科外来(図①)のトイレに「ベビーチェア」を設置してあります。またこの度、正面玄関脇(図②)・1階産婦人科外来隣(図③)・2階売店前(図④)の計3ヶ所にも「ベビーチェア」を増設いたしましたので、ぜひご利用ください。



research

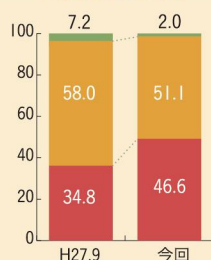
栄養科では、入院患者の皆さんに喜ばれる
おいしい給食を作るために嗜好調査を行っています。

今回は平成28年2月16日に入院の患者さんで、
普通食を食べた方(男性57人、女性31人)に
ご協力をいただきました。

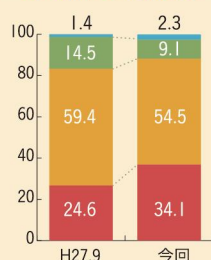
その結果がまとまりましたので
ご報告いたします。



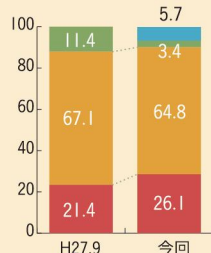
ご飯の満足度



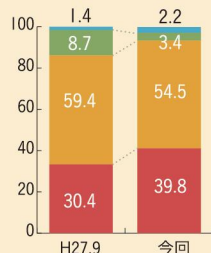
味噌汁の満足度



おかずの満足度



全体の満足度



入院患者さん 嗜好アンケート 結果発表



今回の調査では、前回と比較して、ご飯、味噌汁、おかず、全体の満足度の全ての項目において「満足」の割合が増え、「普通」「不満」の割合が減りました。しかし、米や味噌がまずいといった少数意見もありましたので、味の評価、検討をしたいと思います。

給食でおいしかった料理は、酢豚や選択食で提供している炊き込みご飯やカツ丼が多く挙げられました。また、給食で食べたい料理は、男性でカツ丼、女性でオムライスが最も多く挙げられました。人気の高いメニューを提供できるよう、ご意見を参考にさせていただきます。

給食に関していただいた意見や要望の中で「もう少し味が濃いとありがたい」「組み合わせが良くない」などの声がありました。今後も、薄くてもおいしいと感じられるようなレシピの考案や、献立の組み合わせの見直しを強化したいと思います。

そして、お褒めの言葉も多数いただきました。「いつもおいしく頂いています。食事を楽しみに日々、部屋で過ごしています。」「色どりもよくきれいで食欲が出ます。入れ物も工夫されていて素晴らしいです。」

このように貴重なお言葉をいただくことは大変うれしく、励みになります。今後も栄養科スタッフ一丸となって、安心安全でおいしい給食作りを目指してまいります。

給食でおいしかった料理



- 1位 酢豚・炊き込みご飯
- 2位 カツ丼・魚料理
- 3位 ハヤシライス



給食で食べたい料理【男性編】



- 1位 カツ丼
- 2位 焼きそば・ラーメン
- 3位 チャーハン



給食で食べたい料理【女性編】



- 1位 オムライス
- 2位 ラーメン・炊き込みご飯
- 3位 サンドイッチ・パスタ料理



調査にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

明日の「済生」医療に向き合う若い力



平成28年度 新入職員のご紹介

地域医療の中核を担う当院の医療は、様々な役割をそれぞれの人員が果たすことで、大きな力を発揮しています。そして、その持続を可能とするために、多くの若い力を結

集させています。平成28年度の新採用者は研修医7名、看護師16名、理学・作業療法士8名、臨床工学技士1名、薬剤師3名、事務員2名の計37名です。

新たなる7名が当院から道を歩き始めました

平成28年度 臨床研修医のご紹介

今年度も医師免許を取得した新人ドクターが臨床研修を開始する時期となり7名が当院にて修行研鑽する事になりました。その「フレッシュドクター」をご紹介します。写真左奥から黒川 孝国、長谷川 順紀、坪川 史人。左手前から宮下 真子、有松 真央、為我井 加菜、大越 麻理奈。高い志と情熱をもって、これからの医師生活の中で、たくさんの経験を積んでいくことになります。よろしくお願いします。



看護補助者・調理員募集(準職員)

看護補助者・調理員を募集しています。
済生会新潟第二病院で地域医療に
貢献してみませんか？
詳しくは病院ホームページの
「採用情報」をご確認ください。





スタッフ
リレーコラム



A5病棟 看護師 いいだ ななみ
飯田 七海

飯田看護師からバトンタッチ 今回はこの人！

いつも冷静で、仕事をこなすのも早いと聞いています。その冷静さや要領の良さを見習いたいと常々思っています…！

友人としても、一緒にいるととても安心感のある方です。これからもよろしくお願いします。

A4病棟 看護師 だい く はら ゆ り え
大工原 百合恵

Next!



医芳人

I H O I N



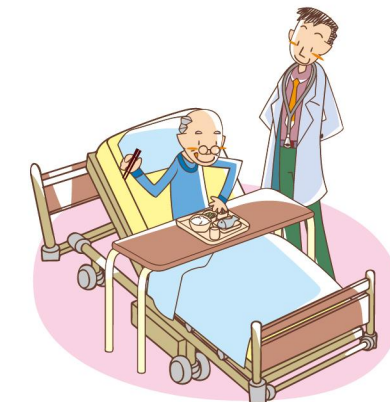
心と時間のゆとり

今年度に入り、入職2年目を迎えました。自宅から病院まで車で20分ほどかかるので、朝7時過ぎに自宅を出るとちょうど8時前には病院に着きます。

入職したばかりの頃、情報収集に時間がかかるため早めに病棟に来ていました。1年経った今もその癖が抜けず、早くに着いてしまいます。もう少しゆっくり準備してもいいのかなとは思いますが、時間が迫ってくるとどうもソワソワしてしまって結局いつもの時間に出ています。せっかくゆとりを持って早めに来ているので、患者さんや病棟の情報をももう少ししっかり把握するようにしたいと思っています。

まだまだ未熟な点が多々ありますが、時間のゆとりと共に心のゆとりも持って、周りに目を向け気を配れるように頑張りたいと思います。

今年4月より当院は「在宅医療・介護連携ステーション」業務を新潟市より受託しました。これは、おもに高齢者が住み慣れた環境で、安心して生活を送る事ができるように市が取り組んでいる事業で、**医療・介護関係者の相談窓口**です（在宅療養に関する市民の方からの相談はこれまで通り地域包括支援センターが受け付けます）。今年度中に市内全区に設置の予定で、区内の医療・介護関係機関の連携をスムーズに行うことが目的です。



また在宅の多職種が一堂に集い学び、議論する場を設け、在宅医療・介護のつながりを強める活動が挙げられます。在宅療養を送っている方、また地域でお住まいのすべての方が地域で安心して在宅療養を送れるように市とも協力し、課題やニーズの把握に努めてまいります。

（地域医療連携室 齋藤浩生）



地域連携福祉センター内に
「新潟市在宅医療・介護連携ステーション西」を

開設しました

連携医療機関（登録医・病院）からの紹介予約窓口→地域医療連携室／直通

TEL.025(233)6182 FAX.025(231)5763

平日8:30～17:00（土・日・祝日を除く）

※患者さんからの予約はお取りしておりませんので、ご了承下さい。



小堺医院 小堺 郁夫(こさかい いくお)先生

☎ 0250(38)2665

〒956-0101 秋葉区小須戸 106-3

診療科目 内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、アレルギー科、精神科

休診日 日曜、祭日

	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後3:00~ 6:00	○	○	△	○	○	△

精神科のみ	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	△	△	△	△	○	△

当院は平成22年4月、旧森平医院を継承して開院しました。所在地の小須戸は江戸時代に町ができて、長岡と新潟をつなぐ舟運の要所の川港として昭和初頭まで発展しました。旧街道沿いには当時のままの町家が数多く残っていて、大正から昭和時代へタイムス



最後にありますが、済生会新潟第二病院へは急患や重症な患者様をお願いしていますが、いつも快く引き受けて治療していただき厚く御礼申し上げます。

リップした気分になります。また農業はもとより花き、特に「ボケ」は全国的に有名です。在宅訪問診療中でも車窓から季節折々の美しい花を見ると心が癒されます。そんなのどかな地域ですから、温厚で優しい人々に囲まれています。微力ですが少しでも地域医療に貢献できればと考えております。

職場訪問

A棟	B棟
10F スカイラウンジ 展望図書館	5F 病棟
9F 病棟	4F 病棟
8F 病棟	3F 病棟
7F ART/心身リハビリ室 管理部門	2F 検査センター/バックカフエ 地域連携福祉センター
6F 病棟	1F 受付/会計/インフォメーション/各科外来/放射線科 リハビリテーション科/患者の相談室/防災センター/ATM
5F 病棟	
4F 病棟	
3F 手術室/ICU-CCU 病棟	
2F 人工腎臓透析室 管理部門	
1F 受付/会計/インフォメーション/各科外来/放射線科 リハビリテーション科/患者の相談室/防災センター/ATM	



今後は、患者さんご家族の交流の場「がん患者サロン」の開催も予定しています。がんで療養中にお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。

また、抗がん剤治療中の方へボランティアの手作り帽子を差し上げています。作り手さんが増えたことで、複数の帽子を差し上げることができるようになりました。実際に利用された方からは、「手作りの暖かみがあつて良い、完成度が高く重宝した」等の感想を頂き大変喜ばれています。

がん相談支援室

がん相談支援室はセンター長である本間副院長、斎川副センター長で構成された地域連携福祉センターの中に属しており、渋川室長、月岡の2人で構成されています。がん患者さんご家族の相談窓口であり、医療費・ホスピスについて各種福祉サービスの利用・ウィッグ等の相談に応じています。地域に開かれた窓口としての機能もあり、当院受診の有無に関わらず、がんに関する相談であれば何でも相談して頂けます。





こころ 躍る
毎日を。



アピタ新潟西店 電話 **025-201-1711**

新潟市西区小新5丁目7番21号

毎週火曜日は火曜特売!!

毎月19・20日は **UCSカード** または **ユニコカード** での
お支払いで、さらに **5%OFF!!**

※食料品売場(日用品・ペット用品含む)・A to Z化粧品コーナー・カウンセリング化粧品コーナー・
ゲーム機本体及び専門店は除外となります。

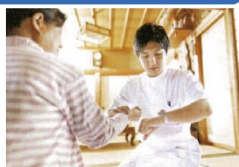
※当日、UCSカードまたはユニコカード入会のお客様も5%OFFが受けられます。



大町調剤薬局グループ
保険調剤
950-1104 新潟市西区寺地453-2(おくすりタウン内)
TEL:025-234-3066/FAX:025-234-3067
営業時間:AM9:00~PM5:30 定休日:土曜・日曜・祝祭日



薬剤師の在宅訪問を行っております



当社ファーマみらいでは無菌設備があり
注射・点滴等の無菌製剤も取り扱っております



新潟県内
64店舗
展開



全快堂薬局 寺地店

済生会新潟第二病院
正面玄関を出てすぐ

営業時間 月曜日~金曜日/9:00~18:30
定休日 土曜・日曜・祝日/休局となります

株式会社ファーマみらい

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院



社会福祉法人 恩賜 済生会 **済生会新潟第二病院**

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地280-7 TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880

なでしこ
Cheers!

当院HPよりバックナンバーも
ご覧いただけます。

医療連携機関マップ
<http://saiseikaidaini-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



「済生会新潟第二病院」の **facebook** 好評稼働中!

